

ゑにし

日蓮大聖人御真筆写

発行所

日蓮正宗法華講妙縁寺支部
〒130-0001
東京都墨田区吾妻橋 2-2-10
TEL 03(3622)5086
FAX 03(3829)2766

第369号

光久御住職御書講義

上野殿御返事

月氏に阿育大王と申すをはしき。(中略)此の大王の過去をたづぬれば、
仏の在世に徳勝童子・無勝童子とて二人のをさな(幼)き人あり。土の
餅を仏に供養し給ひて、一百年の内に大王と生まれたり。仏はいみじし
といえども、法華経にたい(対)しまいらせ候へば、螢火と日月との勝劣、
天と地との高下なり。仏を供養してかゝる功德あり。いわずや法華経をや。
土のもちめをまいらせてかゝる不思議あり。いわずや(種種)のく
だ(果)物をや。かれはけち(飢渴)ならず、いまはうへ(飢)たる国
なり。此をもってをも(思)ふに、釈迦仏・多宝仏・十羅刹女(じゅう
らせつによ)いかでかまほ(守)らせ給はざるべき。

(御書 一二〇六頁)

《通釈》

インドに阿育大王と申す者がおりました。(中略)なぜ阿育大王はこのような大王になられた
のか、その過去を辿ると、釈尊の御在世に徳勝童子と無勝童子という二人の幼い方がいました。
その二人の子どもが、王舎城に於いて托鉢をされたいた釈尊の姿を見て、尊敬なお姿を拝し、泥
遊びをしていた土で団子(土の餅)を作り、釈尊に御供養をされた。その功德が顕れて、仏滅後
の一百年の内に一閻浮提第一の大王に生まれ変わったのである。仏様はたいへん尊いけれども、
法華経に対してその功德と比べるならば、まるで螢と月のような勝劣であり、天と地のような高
下である。このように、仏様に御供養されて阿育王のような功德があった。まして法華経を供養
される功德は実に大きい事である。徳勝童子らは土の餅を御供養されたけれども、その時の釈尊
は食べ物がなくて飢えておられるわけではない。そして、今の身延の山では食べ物が少なく飢え
た国である。貴殿がこのように御供養された事を考えると、釈迦仏や多宝仏の諸聖、十羅刹女の
善神らがどうして貴殿をお守りにならないというのであろうか、必ずお守りになるべきである。

解説

本抄は建治四(一二七八)年二月二十五日、大聖人様が御年五十七歳の御時、前年の早魃(かんばつ)による飢饉の最中、南条時光殿から貴重な蹲鴟(いものかしら・里芋)や串柿等の種々の御供養が届いた折の御返事でありま

これを具体的に申しますと、三つに列挙する事ができます。一つには徳勝童子は法勝劣人の仏、つまり法より劣る仏に供養したが、時光殿は法(法華経)に御供養された事。二つには徳勝童子は実際に食べられない土の餅を御供養したが、時光殿は食べられる里芋や串柿などを御供養された事。そして三つは、徳勝童子は平時の御供養であったが、時光殿は国中が飢饉のときに御供養された事。以上の三点における勝劣を挙げ、時光殿がされた御供養の功德が甚大であると断言されています。

大意は二つあり、一つは御供養に関する功德の偉大さ。二つは、信心は火の信心よりも水の信心が肝心であることを教誡された御指南であります。火の信心とは教えを聴聞したときは燃え立つような信仰心を抱くが、遠のくとその心が薄らぎ、やがて仏法を捨ててしまいます。一方、水の信心とは水が昼夜を問わず流れ続けるように、常に退せず信じる事である、と御教示されています。

さらに言えば、大聖人様に対する様々な食物の御供養を、本抄に「法華経への供養」と仰せられているのは、大聖人様こそ久遠の本仏にして、大聖人即妙法、妙法即大聖人であると明示されているのです。当然、時光殿の御供養の功德がいかに広大であるか、まさに無量と言えます。

御供養の功德について、阿育王の前世・徳勝童子としての故事を引かれております。通常は「御供養はお金や品物の多寡(たか)、世間的な価値よりも、そこに込められた真心が重要である」という意味で解されます。その意味を踏まえた上で、「釈尊に御供養するよりも、末法の法華経の行者に御供養する方が功德が勝る」という、対比の例証として挙げられています。

来月は「特別御供養」の受付が始まります。サブプライムローン問題で端を発した世界金融危機に世の中はますます混乱を極め、そして東日本大震災が起き、日本経済は大きな打撃を受けました。しかし、飢饉の時に貴重な食物を大聖人様に御供養された南条時光殿の純粹な信心を大いに見習い、御影堂大改修工事への真心の御供養をさせていただきます。絶大な功德善根を積んで参りましょう。(文責・編集部)